

## 序章 背景と目的

鳥取市では、市民にとって本当に必要な公共交通を、市民・行政・交通事業者等の“協働・連携”によって計画的かつ戦略的に実現していくために「鳥取市地域公共交通総合連携計画（平成21年3月）」を策定し、「路線バスの実証運行」や「バスマップ」の作成等を実施している。

一方、平成23年度からスタートする「第9次鳥取市総合計画」において、「多極型のコンパクトなまち」を目指し、中心市街地と各生活拠点の再生を図るものとしている。

この中で公共交通は、市民生活を支える社会基盤であると位置づけ、現状のバス路線網を再編し、鉄道・タクシー・自転車など、他の交通手段との連携がとれた、誰もが使いやすく利便性が高い効率的な新しい公共交通システムの構築をすることにより「誰もが乗りたくなる公共交通」への再生を目指している。

この「鳥取市バス路線網再編実施計画」は、「第9次鳥取市総合計画」における本市の社会基盤としての公共交通のあり方、「鳥取市地域公共交通総合連携計画」で示されたバス路線網再編の考え方に基づき、「鳥取市公共交通体系の目指すべき全体像」を明らかにするものである。